

:: 指定管理者制度導入施設 モニタリング・シート ::

評価年月日: 令和1年8月27日

1 基本事項	
公の施設の名称	相模原球場
指定管理者の名称	淵野辺公園グループ運営共同企業体
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで(5年間)
施設設置条例の名称	相模原市立相模原球場条例
施設の設置目的	スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、市民の健康で文化的な生活の向上に寄与すること。
施設概要	所在地:中央区弥栄3丁目1番6号(淵野辺公園内) 開設年月:昭和62年4月 敷地面積:26,800㎡ 延床面積:12,610㎡ グラウンド:14,612㎡ 両翼95m 中堅120m 収容人員(内野観覧席8,064人 外野観覧席8,000人) スコアボード...電光表示式 照明塔...6基 主要施設 諸室(本部室、記者室、放送室、記録室、審判員室、審判員控室、警備員室、管理室、カメラマン室)、体育室、屋内練習場、事務室、役員室、会議室、選手用更衣室、選手用控室等
施設所管課の名称	スポーツ課

2 管理実績						
項目(単位)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
グラウンド 利用件数合計(件)	527	627	699	865	859	803
グラウンド 来場者数合計(人)	67,922	57,661	77,188	81,310	88,537	74,017
体育室 専用利用件数合計(件)	345	342	360	360	357	361
体育室 一般利用者数合計(人)	9,171	9,321	8,643	9,810	9,442	9,769
利用料金収入(円)	7,552,335	9,488,675	8,912,170	12,625,645	13,839,495	12,562,340

3 成果指標の達成度	
指標名(単位)	相模原球場グラウンド利用件数(件) 相模原球場グラウンド来場者数(人) 相模原球場体育室専用利用件数(件) 相模原球場体育室一般利用者数(人)
指標式と指標の説明	達成度 = 実績件数(又は人数) ÷ 目標件数(又は人数) × 100 実績件数は1コマ(2時間)を1件としてカウントする。 平成26年度の目標値は、東日本大震災等の影響に鑑み、平成24年度の利用件数(又は人数)を基に設定した。なお、平成27年度以降の目標数値は、前年度までの実績を基に市と協議の上、指定管理者が自主的に設定することができる。

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値(件)	-	600	600	600	600	800
実績値(件)	527	627	699	865	859	803
達成度(%)	-	104.5%	116.5%	144.2%	143.2%	100.4%
目標値(人)	-	100,000	100,000	100,000	100,000	80,000
実績値(人)	67,922	57,661	77,188	81,310	88,537	74,017
達成度(%)	-	57.7%	77.2%	81.3%	88.5%	92.5%

目標値(件)	300	300	300	300	300	350
実績値(件)	345	342	360	360	357	361
達成度(%)	115.0%	114.0%	120.0%	120.0%	119.0%	103.1%
目標値(人)	8,500	8,000	8,000	8,000	8,000	9,000
実績値(人)	9,171	9,321	8,643	9,810	9,442	9,769
達成度(%)	107.9%	116.5%	108.0%	122.6%	118.0%	108.5%

4 評価		
指標名	評価	コメント
施設の設置目的の達成度	A	「グラウンド来場者数」については目標値には届かなかったが、「グラウンド利用件数」、「体育室専用利用件数」、「体育室一般利用者数」は目標値を上回った。
事業・業務の履行状況	A	修繕の直営化による利用者ニーズへの早急な対応、経費削減の工夫を評価している。また、事業展開については、昨年よりも参加人数が増加したため、今後は実施事業を絡め、利用者の増加に対する取り組み等にも期待する。
利用者満足度の向上度	A	利用者満足度については、1回目92.5%、2回目96.0%であり、高い満足度となっている。
財務状況の適正性	B	人件費や光熱水費が増加に加え、利用料金・使用料収入が減少し、グループ全体で1,600万円の赤字となった。当初見込んでいた事業収入を大きく下回り、収支計画の適正という点で課題が見受けられた。 この項目はグループ全体の収支状況を評価する。

【施設の設置目的の達成度】の評価基準

モニタリングシート(3 成果指標の達成度)における「達成度」の内容について、次の基準により評価する。

- S: 当該年度の達成度が110%以上
- A: 当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B: 当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C: 当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D: 当該年度の達成度が80%未満

【事業・業務の履行状況】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式1)における「評価」の内容について、次の基準により評価する。

- S: 全ての評価項目に「A」もしくは「B」が付き、「C」の数が評価項目の総数の3分の2以上である。
- A: 全ての評価項目に「B」もしくは「C」が付き、「D」の数が評価項目の総数の3分の2未満である。
- B: 全ての評価項目が「C」である。
- C: 「A」と「B」のどちらもつかない項目が1つある。
- D: 「A」と「B」のどちらもつかない項目が2以上ある。

【利用者満足度の向上度】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式2)における“達成度”の内容について、次の基準により評価する。

- S:当該年度の達成度が110%以上
- A:当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B:当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C:当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D:当該年度の達成度が80%未満

【財務状況の適正性】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式3)における“3 指定管理者の団体本体の経営状況”の内容について、次の基準により評価する。

S:評価対象年度の決算において、収入が支出を上回っており、かつ選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合

A:評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っておらず(収支が一致している。予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合

B:評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っているが(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合

C:評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行っている(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、または選考委員会による意見として本体の経営状況に「若干の懸念がある」とされた場合

D:評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行って(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「重大な懸念がある」とされた場合

「財務状況の適正性」の項目については、グループ全体としての評価とする。(複数の施設をグルーピングしている場合のみ)

客観的評価として以上の基準によりS～Dを判定し、選考委員会の意見を踏まえて調整することも可能とする。

5 施設所管課による総合評価

コメント	<p>高校野球や大学野球リーグなどの利用が継続して行われるなど、毎年レベルの高い大会が行われており、本市のスポーツ振興計画における「観るスポーツ」の促進に大きく寄与している球場であるため、30年度は今までのグラウンド整備を中心とした日常管理に加えて、ボール塗り替えやブルベンの水道管増改築などに積極的に取り組み、これまでにない形の成果を上げたことは評価できる。今年度以降も積極的な施設管理を継続していただきたい。一方で、平日利用がなかなか進まない状況もあるので、積極的な事業展開に期待したい。</p> <p>また、東日本大震災復興支援チャリティーマッチと称した国内外のプロ野球選手による試合と運動した子どもへの野球教室の実施等、教育機関として施設の設置目的に沿う事業について29年度よりも、参加人数が2倍以上に増加し、成果が得られたと認識している。今後も様々な事業を通じ、利用者のニーズ等の把握に一層努めていただき、教育機関としてスポーツ振興に寄与した事業の拡大や展開に期待している。</p>
------	--

6 指定管理者選考委員会による評価

評価実施日	令和1年8月27日
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ全体として大きい赤字となったが、利用者の増加に向けた取り組みや、光熱水費の削減に向けた取り組みなど、指定管理者の手腕に期待したい。 ・公園や施設に愛着を持ってもらえる取り組みや、知名度が向上するような事業を期待したい。 ・施設の老朽化が進行する中、修繕や管理についてよく取り組んでいることについて評価する。 <p>この項目はグループ全体について評価する。</p>